

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
抹	マツ 常①			抹					
拉	ラ 常②		拉				拉	拉	
按	アン 人①		按	按			按	按	
括	カツ 常①		括				括	括	
								括	
拳	キョ あがる あがる 教4 常①		拳	拳	拳	拳	拳	拳	拳
舉			舉				舉	舉	
舉	②		舉					舉	
舉								舉	
挾	キョウ はさまる はさむ 常①		挾	挾			挾	挾	
挾	②			挾					
拳	ケン こぶし 常①		拳	拳			拳	拳	
拳								拳	

【抹】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

【拉】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。『教育上より見たる明治の漢字』に「拉」の字形が掲載されているが、「拉」の字種としてではなく「將」の異体字(許容字)としての

掲載。

【拳】説文解字、五経文字には手部に掲載されているが、康熙字典には臼部に掲載されている。

【挾】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
	抹	抹	抹				抹					抹 中・台・香
拉		拉	拉	拉	拉		拉					拉 中国・台湾 香港
按	按	按	按									按 中国・香港 台湾
		括	括	括			括	括		括		括 中・台・香
		括										
拳	拳	拳	拳	拳	拳		拳	拳	拳	拳		拳 中国
	拳	拳					(拳)					拳 台湾
	拳	拳										拳 香港
挾	挾	挾	挾	挾			挾					挾 五経(訛) 中国
												挾 台湾・香港
拳	拳	拳	拳	拳	拳		拳					拳 中国・台湾
												拳 香港

【拳】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
拷	ゴウ 常①								
搽	サツ 常①								
指	シ サ び さす 教3 常①		指	指	指	指	指	指	指
				指	指			指	指
				指				指	指
持	ジ もつ 教3 常①		持	持	持	持	持	持	持
				持				持	持
拾	シュウ ジュウ ひろう 教3 常①		拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
拭	シヨク ふく ぬぐう 常①				拭				
挑	チョウ いどむ 常①		挑	挑				挑	
揆	アイ 常①		揆				揆		
挫	ザ 常①		挫				挫	挫	挫
捌	ハツ ハチ さばく さばける はける ①		捌					捌	捌

【搽】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。

【拭】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。

【挑】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

【揆】2010年(平成22年)に人名用漢字から常用漢字表に追加

れた。

【挫】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。

平安中期 から 室町	江戸版本 1716年 部首・画数	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
	拷	拷	拷					拷	拷			拷 拷 中国・台湾 香港
	搽	搽	搽	搽				搽	搽			搽 搽 坊っちゃん 中・台・香
	指	指	指	指				指	指	指	指	指 中国・香港
	指	指										指 台湾
	持	持	持	持				持	持	持	持	持 中国・香港
	持	持		持								持 台湾
	拾	拾	拾	拾				拾	拾	拾	拾	拾 中・台・香
	拭	拭	拭	拭				拭	拭		拭	拭 坊っちゃん 中・台・香
	挑	挑	挑	挑				挑				挑 中・台・香
	揆	揆	揆	揆				揆	揆			揆 揆 中国・台湾 香港
	挫	挫	挫	挫								挫 中・台・香
	捌	捌	捌	捌								捌 捌 中国 台湾・香港



親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
掛	かける かかると かかり						挂	挂	挂
挂	カイ ケイ かける		挂						
掬	キク すくう むすぶ						掬	掬	
掘	クツ ほる		掘			掘			掘
掲	ケイ かかげる		掲			掲	掲		掲
捲	ケン まぐる めくる		捲				捲	捲	
控	コウ ひかえる		控			控	控	控	控
採	サイ とる		采	采	採	採	採	採	採
采	サイ とる	采	采	采	采	采	采	采	采

【掛】中国では「掛」は使わず「挂」を使うようだ。日本でも「挂」を使っていたが、江戸時代からは「掛」が使われ始める。干禄字書では「掛」を俗、「挂」を正としている。漱石は「ト」ではなく「戈」を書いているが、このような異体字があったのだろうか？

【掘】漱石は「堀」の字体を書いている。  
【捲】JIS2004で例示字形が変更、画数も1画減った。  
【控】「扌+口」の異体字があったらしい。  
【採】現代中国では「採」を使わず「采」を使う。干禄字書は「採」を通、「采」を正としている。「采」は2010年(平成22年)

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
挂	掛	掛	掛	掬			掛	掛	掛	掛		掛
挂	挂	挂										
掬	掬	掬	掬					掬				掬
掘	掘	掘	掘	堀			掘	掘		掘		掘
掲	掲	掲	掲	掲			掲	掲		掲		掲
捲	捲	捲	捲	捲			捲					捲
控	控	控	控	控			控	控	控	控		控
採	採	採	採	採			採	採	採	採		採

に常用漢字表に追加された。「採」「采」共に常用漢字だが、常用漢字表に載っている読みは「採」は「サイ・とる」だが「采」には「サイ」しか載っておらず、「とる」は常用外の読み。

